

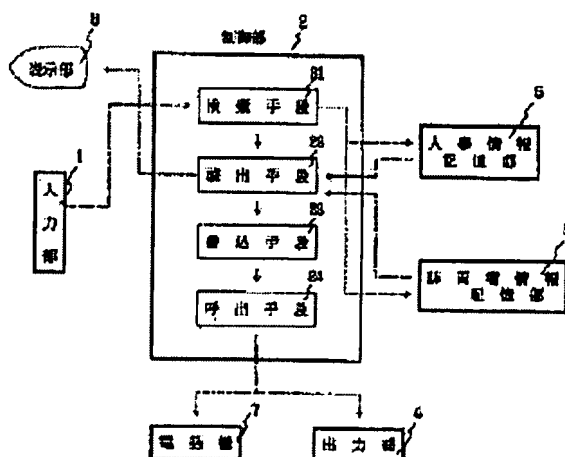
# ACCEPTANCE PROCESSING SYSTEM

Publication number: JP6004559  
 Publication date: 1994-01-14  
 Inventor: KAKIMOTO NARIYUKI  
 Applicant: NIPPON ELECTRIC CO  
 Classification:  
 - International: (IPC1-7): G06F15/24  
 - European:  
 Application number: JP19920157160 19920617  
 Priority number(s): JP19920157160 19920617

Report a data error here

## Abstract of JP6004559

**PURPOSE:** To eliminate burden on a visitor and to improve the processing efficiency of acceptance by guiding the visitor to a conference room or an office without receiving the instruction of a person in charge based on information registered in advance, and automatically performing the generation of an entrance bill and entrance/leaving management. **CONSTITUTION:** This system is provided with a personnel information storage part 5 on which the personnel information of a member is registered, a visitor information storage part 6 on which the information of a scheduled visitor, etc., is registered, a retrieval means 21 which retrieves those information, a readout means 22 to read out the result of retrieval and the information, a write means 23 to write the time of entrance/leaving, etc., on the visitor information storage part, a display part 3 on which every kind of information is displayed, an input part 1 to input every kind of information, and an output part 4 from which the information can be taken out arbitrarily at need, and the visitor can be guided to the conference room or the office without receiving the instruction of the person in charge based on the information registered on the personnel information storage part 5 and the visitor information storage part 6 in advance, and the generation of the entrance bill and the entrance/leaving management can be automatically performed.



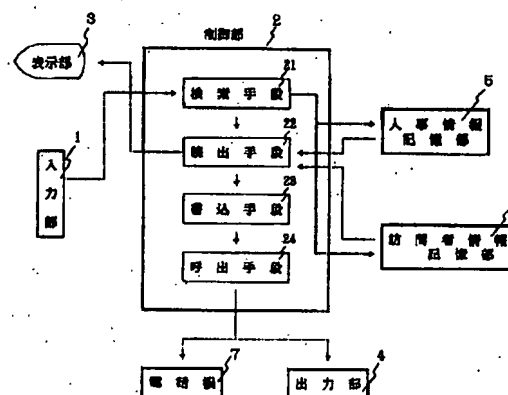
Data supplied from the esp@cenet database - Worldwide

(11)特許出願公開番号

(43)公開日 平成6年(1994)1月14日

技術表示箇所

(74)代理人 弁理士 京本 直樹 (外2名)



1

2

## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 社員の人事情報および訪問予定者の情報を入力する入力部と、前記人事情報を登録しておく人事情報記憶部と、前記訪問予定者の情報を登録しておく訪問者情報記憶部と、前記人事情報および前記訪問予定者の情報を検索する検索手段と、前記検索の結果その情報を読み出す読出し手段と、前記訪問予定者の入出時の時刻を前記訪問者情報記憶部に書き込む書き込み手段と、前記読出し手段により読み出された人事情報および訪問予定者の情報を表示する表示部と、前記訪問者情報記憶部に蓄えられた人事情報および前記訪問予定者の情報を取り出す出力部とを備えることを特徴とする受付処理システム。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、受付処理システムに関し、特に訪問者に対応する受付における諸業務を支援する受付処理システムに関する。

## 【0002】

【従来の技術】従来、受付においては、来客の際、訪問者が氏名、社名、および面会担当者の氏名（以下、担当者と呼ぶ）、担当者の部門名等を受付担当者に告げることで、受付担当者は、内線にて担当者と連絡をとり、来客の到着を告げ、その後、案内先の指示を担当者より仰いでいた。

【0003】また、例えば、入館の際には、入館票等に社名、氏名、担当者名、部門名、入館時刻等を記入後、受付担当者より身分証明書（名札、またはカード）を受け取り、それを着用して入館していた。

【0004】退館の際には、上記の身分証明書を受付に返却して入館票に退館時刻を記入後、退館しているのが一般的である。

## 【0005】

【発明が解決しようとする課題】上述した従来の受付業務では、受付担当者は訪問者より担当者名および部門名を聞いてから、内線番号を調べ、その後担当者と連絡をとり、案内先の指示を仰いでいた為、担当者が席をはずしていた場合など訪問者は、受付で待たされることになり、処理効率も悪くなるという問題がある。

【0006】また、入館票の記入等、訪問者の負担も多いという問題がある。

【0007】本発明の目的は、予め登録してある情報に基づいて、担当者の指示を仰ぐことなく訪問者を会議室、またはオフィスに案内し、入館票の作成、および入出館管理も自動で行うことにより、上記の欠点を解消し、訪問者の負担を無くし、受付における処理効率の向上を図る受付処理システムを提供することにある。

## 【0008】

【課題を解決するための手段】本発明の受付処理システムは、社員の人事情報および訪問予定者の情報を入力す

る入力部と、人事情報を登録しておく人事情報記憶部と、訪問予定者の情報を登録しておく訪問者情報記憶部と、人事情報および訪問予定者の情報を検索する検索手段と、検索の結果その情報を読み出す読出し手段と、訪問予定者の入出時の時刻を訪問者情報記憶部に書き込む書き込み手段と、読出し手段により読み出された人事情報および訪問予定者の情報を表示する表示部と、訪問者情報記憶部に蓄えられた人事情報および訪問予定者の情報を取り出す出力部とを備えている。

## 【0009】

【実施例】次に、本発明の実施例について図面を参照して説明する。

【0010】図1は本発明の一実施例の受付処理システムの構成図、図2は本実施例の受付処理システムの訪問者情報記憶部における記憶内容のフォーマット図、図3は本実施例の受付処理システムの人事情報記憶部における記憶内容のフォーマット図である。

【0011】図1において、本実施例の受付処理システムは、入力部1と、検索手段21と読出し手段22と書き込み手段23と呼出し手段24とを有する制御部2と、表示部3と、出力部4と、人事情報記憶部5と、訪問者情報記憶部6と、電話機7とから構成されている。

【0012】次に、本実施例の受付処理システムの動作について図面を参照して説明する。

【0013】入力部1は、キーボード等の入力装置であり、これにより、訪問者情報を制御部2へ入力する。制御部2は、マイクロプロセッサからなり、メモリ（図示せず）に書き込まれている制御プログラムに従い、後述するデータ処理を行う。

【0014】入力部1より入力された訪問者情報は、検索手段21に与えられ、検索手段21は入力された訪問者情報に従って、訪問者情報記憶部6を検索する。

【0015】ここで、該当するレコードは読出し手段22によって読み出され、読出し手段22はこれを一時保持し、会議室情報に従い会議室名またはオフィス案内をCRT等の表示部3に表示させる。

【0016】また、訪問者情報記憶部6に該当するレコードがない場合には、検索手段21は部門名、担当者名を基に人事情報記憶部5を検索する。ここで、該当するレコードは、読出し手段22によって読み出され、同様にオフィス案内に基づいてオフィス案内を表示部3に表示させ、該当レコードは書き込み手段23へ与えられる。

【0017】書き込み手段23では、訪問者情報記憶部6にあるレコードに関しては入館の時刻を、訪問者情報記憶部6にないレコードに関しては、訪問者の氏名、社名、担当者名を入力データより取り込み、担当者の部門名、オフィス案内は人事情報記憶部5より取り込んで訪問者情報記憶部6に入館時刻と共に書き込む。

【0018】その後、該当レコードは、呼出し手段24に与えられる。

3

【0019】呼出し手段24では、与えられたレコードより担当者の内線番号を接続された電話機7より自動発呼（自動的にダイアリング）し、担当者に受付担当者より来客の到着を連絡する。

【0020】また、このレコードはそのまま出力部4へ与えられる。

【0021】出力部4では、与えられたレコードより各情報をIDカードに登録し、これを出力する。

【0022】訪問者は、このカードを身分証明書とし、これを着用し退館の際に受付にこのカード返却する。受付担当者が、このカードを読み込ますと、このカードに登録されている情報を基に、検索手段21によって訪問者情報記憶部6が検索され、番込み手段23によって退館の時刻が登録される。同時にこのカードはクリア（初期化）される。

【0023】こうして全受付業務終了後、訪問者情報記憶部6の内容を入館時刻の順にソートして当日の訪問者情報一覧をプリンタから出力する。

【0024】この訪問者情報一覧によって、入出館管理も同時に行うことができる。

【0025】また、訪問者情報一覧を出力後、訪問者情報記憶部6の内容を翌日のものに更新する。

【0026】図2は、1つのレコードにおいての訪問者情報記憶部6における記憶内容のフォーマットを示し、訪問者名、社名、担当者名、部門名、内線番号、会議室名またはオフィス案内、入館時刻、退館時刻とをそれぞれ記憶する部分からなっている。

【0027】訪問者情報記憶部6においては、訪問者名の50音順にソートされて記憶されている。

【0028】図3は、1つのレコードにおいての人事情 30

4

報記憶部5における記憶内容のフォーマットを示し、氏名、部門名、内線番号、オフィス案内とをそれぞれ記憶する部分からなっている。

【0029】人事情報記憶部5においては、氏名の50音順にソートされており、部門ごとに整理された形で記憶されている。

【0030】

【発明の効果】以上説明したように、本発明の受付処理システムは、予め登録してある情報に基づいて、担当者の指示を仰ぐことなく訪問者を会議室、またはオフィスに案内し、入館票の作成、および入出館管理を自動的に行うことにより、訪問者の負担は無くなり、受付における処理効率も高めることができ、かつ入出館管理も同時に行うことができるという効果がある。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施例の受付処理システムの構成図である。

【図2】本実施例の受付処理システムの訪問者情報記憶部における記憶内容のフォーマット図である。

【図3】本実施例の受付処理システムの人事情報記憶部における記憶内容のフォーマット図である。

【符号の説明】

- 1 入力部
- 2 制御部
- 3 表示部
- 4 出力部
- 5 人事情報記憶部
- 6 訪問者情報記憶部
- 7 電話機

【図2】

訪問者名	社名	担当者名	部門名	内線番号	会議室名	入館時刻	退館時刻
------	----	------	-----	------	------	------	------

【図3】

氏名	部門名	内線番号	オフィス案内
----	-----	------	--------

【図1】

